



I'mネット通信 No. 66

「いばらきマンション管理組合ネットワーク」からのお知らせです。

第13回定期総会と会長の講演

今回は、アイムネット第13回定期総会開催日(2023年11月10日)で、総会は式次第に沿い、会長挨拶の後、議長花谷理事の議事進行の流れで、各議案共に賛成多数の結果でつつがなく終了しました。ただ、会員数70名のアイムネットの総会で、出席者13名、議決権行使書提出者2名、合計15名の開催は、何を物語っているのか?の想いを強く感じました。

マンションの定期総会出席者の割合も、どちらかというと同じレベルだから、それも当たり前と捉えざるを得ないのかなと思いつつも、『前年の総会より2名少なくなっている』との議長の一言も意味あるものと御意を感じました。マンションを取り巻く社会的環境(高齢社会到来とか異常気象等の自然災害)の変化を考えると、これからの管理組合の活動範疇は今迄の意識力慨知で捉えるより、未来重視の思考力即ち、プロセスは多様という捉え方で対応すべきでは、の想いは消えませんでした。

総会後のレクチャ

会長からご自身のマンション管理組合の活動、特に2022年の理事長Y氏のエピソードを説明頂きました。内容はY氏の性格、お人柄もあったからでしょうか、組合員に対する工事に関わる計画立案並びに実施に関わる説明及び手元資料作成に費やされたエネルギーは、計画立案の確かさに加え、強固な責任感の維持が組合員の満足に通じ、それ迄の管理組合運営で生じていた工事履行中に勝手な要求が生まれたというようなトラブルも無く順調に進んだという説明は、管理組合運営の一丁目一番地である『合意の形成』活動の本質の大切さを気付かせて下さいました。又、規約改正から大規模修繕計画立案並びに実施要領作成の想いが次の理事会にシッカリしたバトンが渡ったようで、次の組合員の活躍が期待されるのではと思いました。

当初、Y氏が一人で全てを取り仕切っていたようにお聞きしておりましたので、出来たらご本人の口から、分譲マンションの住人として、管理組合理事長としての、生活哲学が聴ければと思いましたが、ご高齢で今はリタイアされていることと2022年の管理組合運営はY氏の想いを元に理事三役の一体化による活動が大きくなうねりを起こしたとお聞きし、納得と云うか、Y氏は共同生活、共同利

用、共同所有、共同管理、という分譲マンションの肝である精神を強く持たれたお方だったのではと個人的な感想ですが思いました。

以下は個人的な捉え方ですから間違いがあるかもしれませんが、管理組合活動の基盤はマンションの建物（hardware）の問題解消維持管理が役割とされており、それ事態異論はありませんが、共同生活を維持し続ける住民の安心・安全からの生活感にパワーを注入することも大きな役割と捉えるべきではないかと思います。環境が変れば住む人々の感覚の変化も生じますから、組合活動の視野に入れておく必要があると思うからです。

（文責 横須賀 亮一）

**茨木市内の分譲マンションの区分所有者なら、どなたでもお気軽にご参加いただけます。
いばらきマンション管理組合ネットワーク「I'mネット」にご参加ください。**

問合せ先 茨木市都市整備部居住政策課内

TEL / 072-655-2755（直通）

FAX / 072-620-1730

**次回は総会を2024年1月12日（金）19時から
男女共生センターローズ WAM 会議室にて行う予定です。**